

# エコは、もはや常識！ コスト削減しながら 企業の好感度アップを！



## いまや新聞やテレビで「エコ」の言葉を 聞かない日はありません。

この夏の猛暑をはじめ、ここ数年間に私達の身近なところで、これまでとは違った環境の変化を感じる状況になってきました。マスメディアの報道等においても地球温暖化防止、CO2削減問題に関するものが多く取り上げられ、その必要性は一般の人々にも認識され始めています。

政府、産業界も環境対策には、一層力を入れて取り組み始め、今年から改正省エネ法・温暖化対策法が施行され、多くの上場企業をはじめ、一定以上のエネルギー消費量を超える法人においては、使用エネルギー状況の報告と省エネが義務化されました。

また、省エネの義務化ばかりではなく、国内排出権取引、補助金助成金等の省エネ普及促進の施策も検討、実施されるようになってきました。

そもそも何故、省エネが世の中で必要とされているのでしょうか。それはCO2をはじめとする温室効果ガスが地球温暖化の原因と考えられている為、その排出量を減らさなければならないからです。今の地球環境を維持するだけでも現状のCO2の排出量を半減せねばならないといわれています。

また我々の生活・活動に必要なエネルギー資源も有限です。(石油：42年、天然ガス：60年、ウラン：100年)

世界中で多くの次世代エネルギー開発が行われている中で、環境負荷の少ない、もしくは再生可能で永続的に利用できるエネルギー開発が期待されます。我々の次の世代のためにも、石油等の化石エネルギーを中心とした残り少ないエネルギー資源を有効に利用していかなばなりません。

## 「環境対策」は経営の足かせ？

多くの業界でCO2削減、環境問題に対して業界全体としての取り組みが行われてきています。業界全体でのエネルギー消費量が大きく、企業活動が環境に影響を及ぼすことが大きいからです。また世の中の流れも、企業活動に応じた環境貢献を求められるようになってきました。

また経営の面から、省エネによる経費削減は必要なことです。費用対効果、メリットとデメリットを見極めた上で、適切に取捨選択して導入していけば、投資費用を省エネ分で賄えて、そ

の後、確実にエネルギーコストが低減されるわけですから、むしろ低経済成長の時代における強固な経営基盤作りには必要不可欠ではないでしょうか。

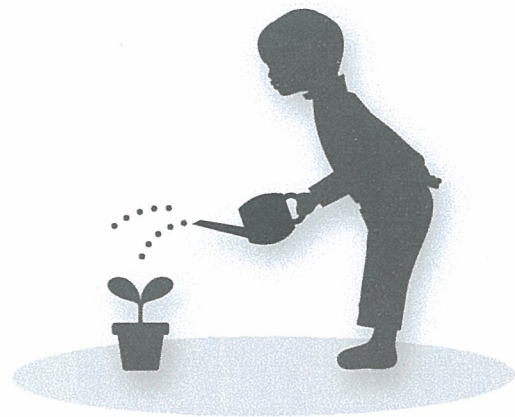
## エコで社会貢献するという新たな価値観。

環境に対する様々な市場調査が行われていますが、環境に配慮した商品や企業に対し、消費者はおおむね高い好感度を持っている傾向にあります。また、環境貢献に積極的な企業で働く従業員は自社の活動に誇りと自信を持って、日々の業務に打ち込めるなど従業員の意識変化にもメリットがあります。

以上のことは、我々スイミングクラブ経営においても全てあてはまることであると思います。我々の施設も多くの各種エネルギーを利用しており、業界全体で見ればかなりのエネルギー消費量になります。その我々の業界も立ち上がれば、大きな社会貢献が出来るものと思います。

そのような積極的な姿勢は社会からの共感、信頼、支持を得て、業界全体のイメージアップにも繋がっていくことになるでしょう。

社会貢献と同時に、自社の省エネにより、経営改善に繋がるCO2削減、環境貢献を推し進めて行くことが、今後のスイミングクラブ経営において、大きく意義のあることだと思われま



## 体験レポート

### 節水システム(シャワーヘッド)導入後の感想

有限会社ドルフィンスイミングスクール 代表取締役 角谷祥吾



節水システムで導入したシャワーヘッドは、シャワーに流れる水に空気を流入させ、その分が水に変わって流れる為、節水できるというものです。使用感は導入する前と変わらず、問題はなかったです。空気が流入される勢いで水圧が落ちない為です。(節水コマでは単に水の勢いを抑えるため、一部の水圧が高い場合を除き、勢いが弱くなり使い勝手が悪くなると聞いていたので、多少の不安はありました)生徒達もエコでやっているということで理解してくれています。

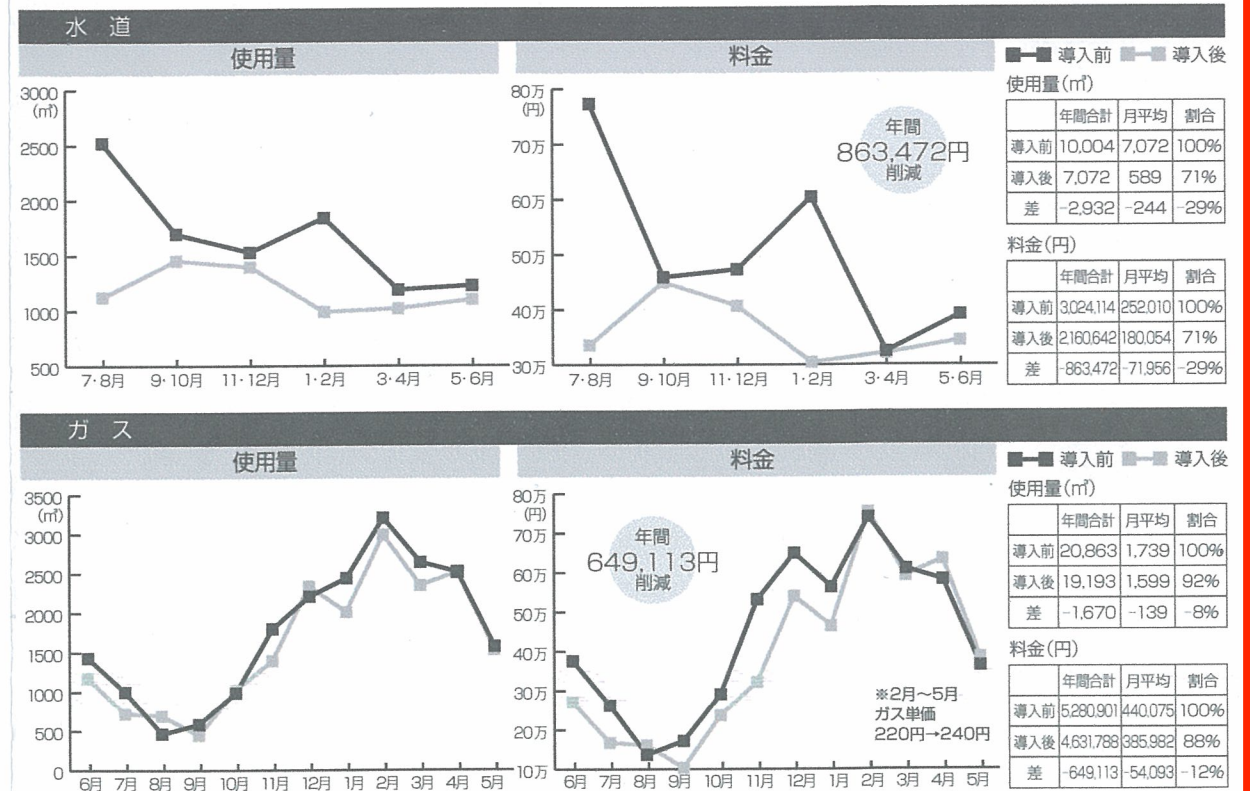
節水効果に関しては水道料金が前年対比で約86万円下がりました。またガス代も前年対比で約65万円下がりました。シャワーの流量が減れば、その分お湯が減り、それに伴ってガス代も減ることになります。

導入後は予想以上の数字になり、満足しています。

導入費用も節水コマに比べれば数分の一と安く、数ヶ月で投資費用を回収して、今はその分が利益となっています。

また、水道とガスの使用量が減ることでCO2削減に繋がり、コスト削減しながら環境貢献もできて一石二鳥で良かったです。節水以外にも電気、ガス、重油でも工夫次第で費用対効果の高いコスト削減ができると思います。小さなことからひとつずつ省エネについて考え、実行してみるこの価値を実感した体験です。下のグラフは実際の導入結果です。

導入効果 (前年対比削減)	年間CO2削減量 5,208kg	植林に 換算すると 372本
------------------	---------------------	----------------------



平成22年度 全国トップマネジメントセミナー 詳しい内容は別途送付済みの案内をご覧ください。

ともに学ぶ  
企業に求められる  
エコ活動と省エネ対策

とき 11月25日(木)~26日(金)

ところ 横浜国際ホテル

申込み締切: 11月8日(月)

締切後のお申込みは直接本部まで。  
ぜひご参加ください!

申込み  
受付中